

原の線がまぶしい。よく晴
た五月上旬の午後、阿蘇郡南
蘇村向井。豊かな表情の田園

「へー」と泡まれた顔をほほえませた。

に困らないのぢ、ベンチャー
ジネスよりもリスクが低い。
体が動くうちに「明るい農村」

妻 上

草原の緑がまぶしい。よく晴れた五月上旬の午後、四國部南糸村簡所。豊かな表情の田園は、昔のままの自然が残る。川のよな水路が走り、さまざまな形の田畠が並ぶ。そんなあだがついた田畠の由来で、金森みやげになつた父の幼児は娘顔で「まあ、た、笑な」と喜び男女が六人。木の支柱にされたテイガネットの上をレールが行き交う。上の田代がま中の新幹のおどりは豪麗で「まあ、た、笑な」とほしゃう。「通ひかわったおじいさん」二三年になつて、「お、なほしまわん」と平井朝日顔だ。

若いからこそ農業
埼本市生まれの耕太さんと、
「ドイツ生まれで東京育ちの愛製
さんば、一九九九（平成十一）
年、東京で学生結婚。二人は三
年半留学したドイツ大学院も含
め、農業探査計画を実現した。
「一日に一度も土を踏まない東
京で、農村の活動や農業探査計画を
考えることは結構を感じた」耕
太さんは、奈良県磯城郡大和町で、
農業を営む叔父のもとで就農。有
機無農薬米の直販販売や、あなた
の農業のほか、留学経験生か
したドイツ語の通訳や翻訳など
で生計を立てている。
「〇七年版農科・農業・農村
白書」によると、新規就農者
万人のうち三十人九歳以下は一万
三千人。耕太君の精神がよく、
話題に上るが、若者の就農は压
倒的少ない。「なんでもドイツ
の大学院まで出で、若いうちに
農業なの?」と言われるほど

に困らないので、ベンチャービジネスよりもリスクが低い。ジネス活動で「明るい農村」体を動かしたかった」と、
「この農業政策で困ったがた」と、「でも、年を取つたら医療や福祉などの面で、断然福祉会が便利。友人は、共同で介護してくれる女性を雇つて暮らそが、話している。運営は水曜講義会」――

02(オーツー)ファーム
大津 耕太さん(32)、愛梨さん(33)夫妻 ⑤

東京で学生結婚後に就農
仲間と目指す「百笑生活」

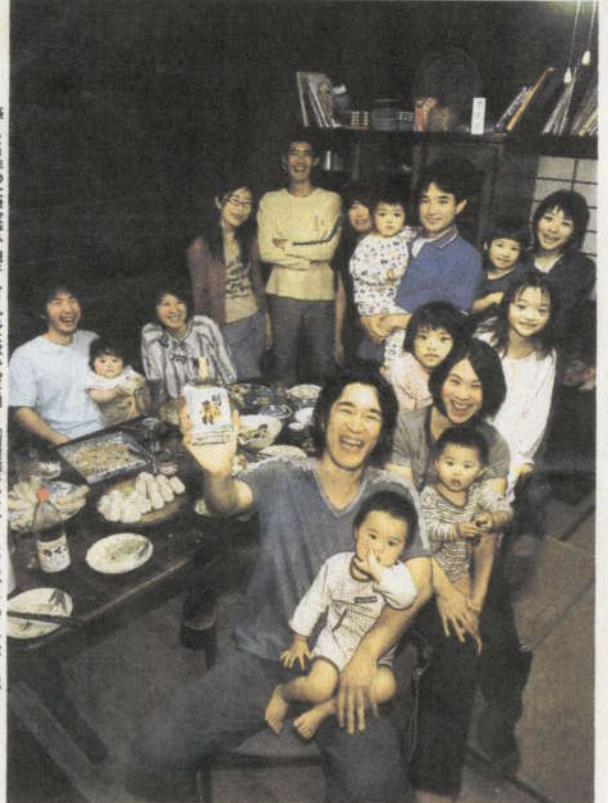
東京から来た会社員の友人（奥）と、近くの河原で採った桑の実で桑葉酒を作る耕太さん

昔は実家や親せきが農家、といふ人がほとんどだったんだけど」と耕太さん。

また「O2（オーツー）ファームウェブ」と名付けたサイトで、米と一緒に送り届けなど、「土から離れた人」たちに情報を発信している。「食べる人の頭に、農村風景や農業の楽しさを、そして後の後の頃などが浮かべば、食卓でさらに安心してお米を口にできると思うんです」

畠美に「明るい農村」への道を進む大津夫妻。「自分たちで経営や暮らしをデザインできるのが農家のいい点」。移住や農業を守るために、農村風景を守りたい、という思いを表現する可能性を常に考えています」

（畠山茂）



阿蘇にくらし 阿蘇をつくる

1998-1999 Academic Year

卷之三

卷之三

※くまにちコムでも掲載しています。アドレスは<http://www.kumanichi.com/>

• 3 •